

ローカルVPPによる 地域エネルギーサービスの展開

2018年11月6日

株式会社富士通総研
上保 裕典

■ エネルギーインフラ

- 大規模集中電源に依存した供給システムの脱却。
- 急速に普及する再生可能エネルギーの安定かつ有効な活用。
- 発電設備等に対する投資の抑制。

■ 地域・社会

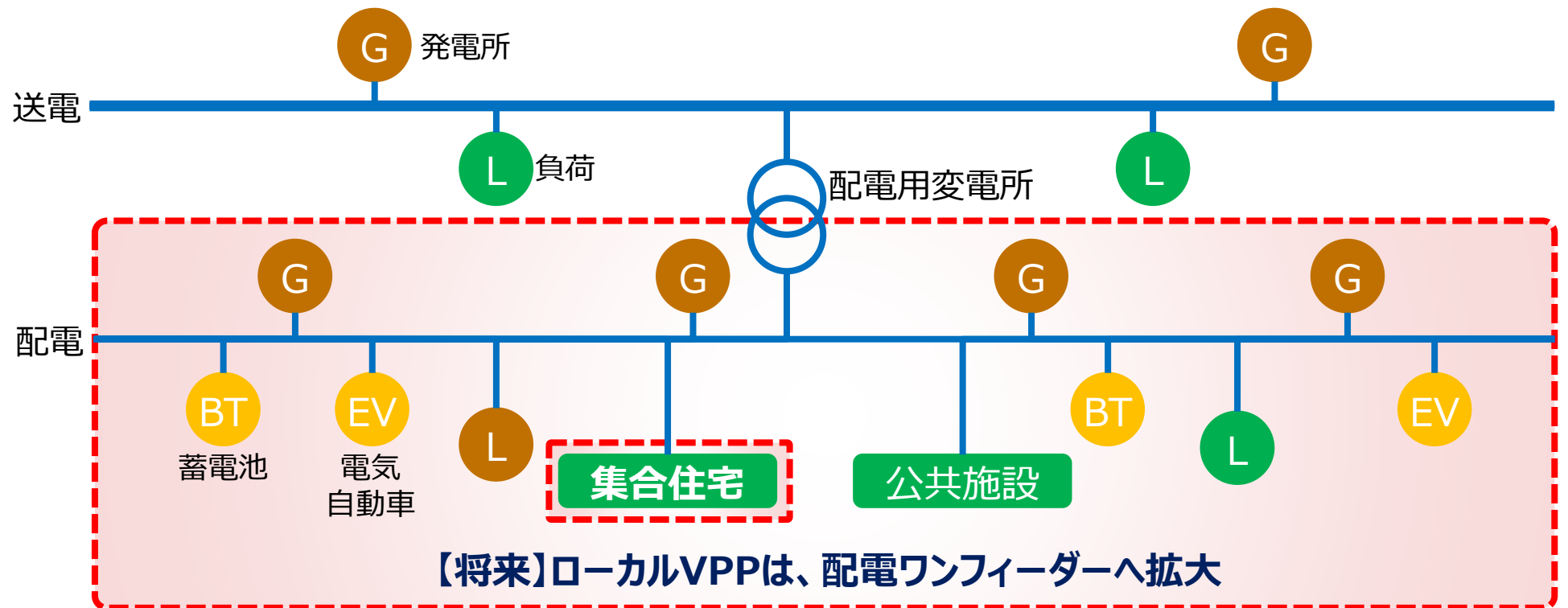
- 「売る」から「使う」へ（太陽光発電の2019年問題）。
- エネルギーコストの削減。
- 災害時のエネルギー源の確保。
- 地球温暖化対策への貢献。
- 新しいビジネス機会の創出。

2020年、V P P 自立化
(2020年に50MW程度のVPPの構築を実現)

※「エネルギー革新戦略（平成28年4月）」（経済産業省）

3.ローカルV P Pによる地域エネルギーサービスの展開

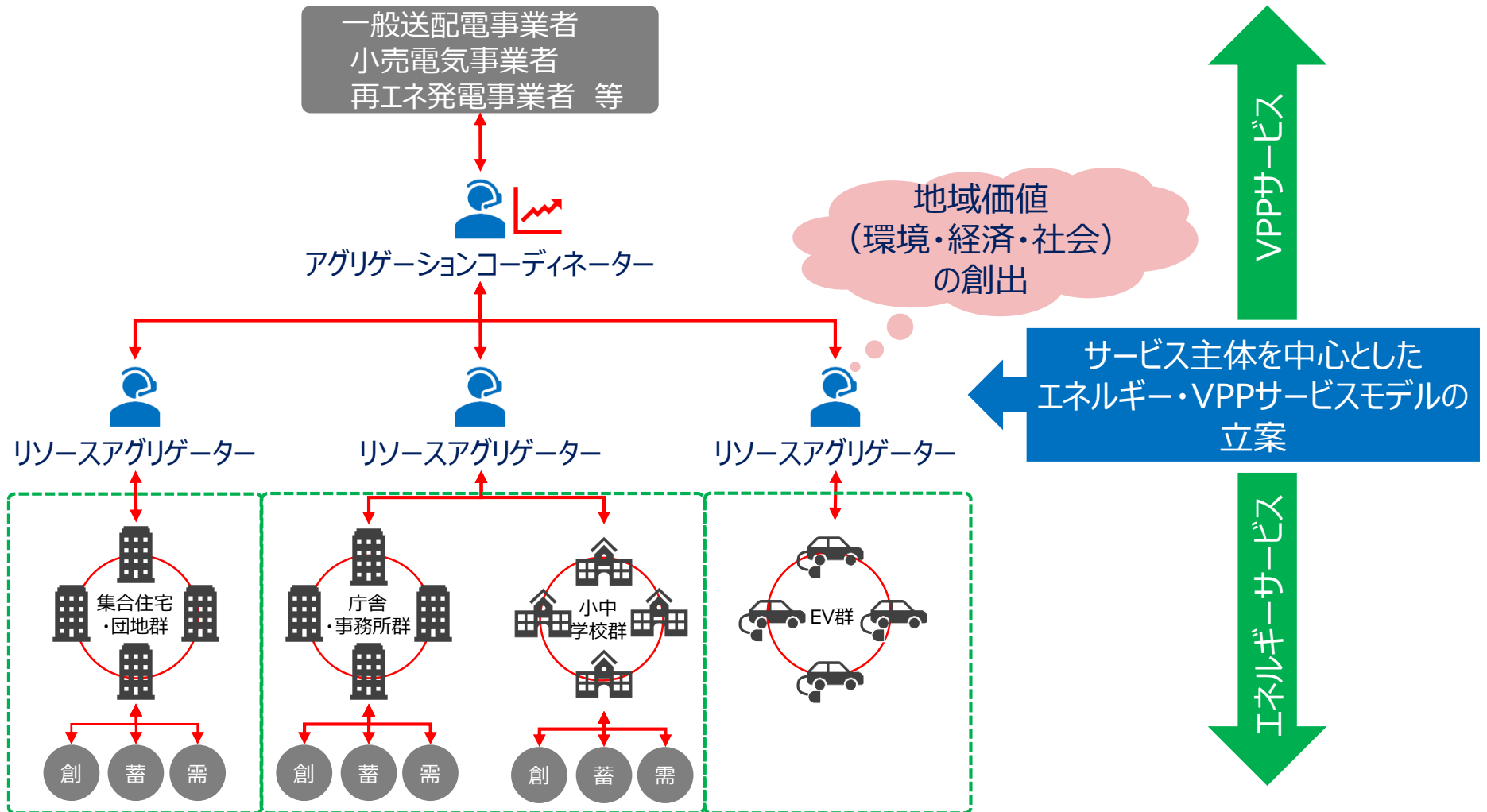
- 今後期待が高まるVPPを、これからの新しいエネルギーシステムとして浸透させていくためには、地域が価値を実感できる最適規模のエネルギーサービスとして、今から実装・展開していくことが必要。
- 地域の特定エリア・集合体（コミュニティ）を対象とした、自立分散型エネルギーサービス（=ローカルV P P）を開発し、早期に社会へ実装し展開へ。



資料：「株式会社I.T.I.資料をもとに作成」

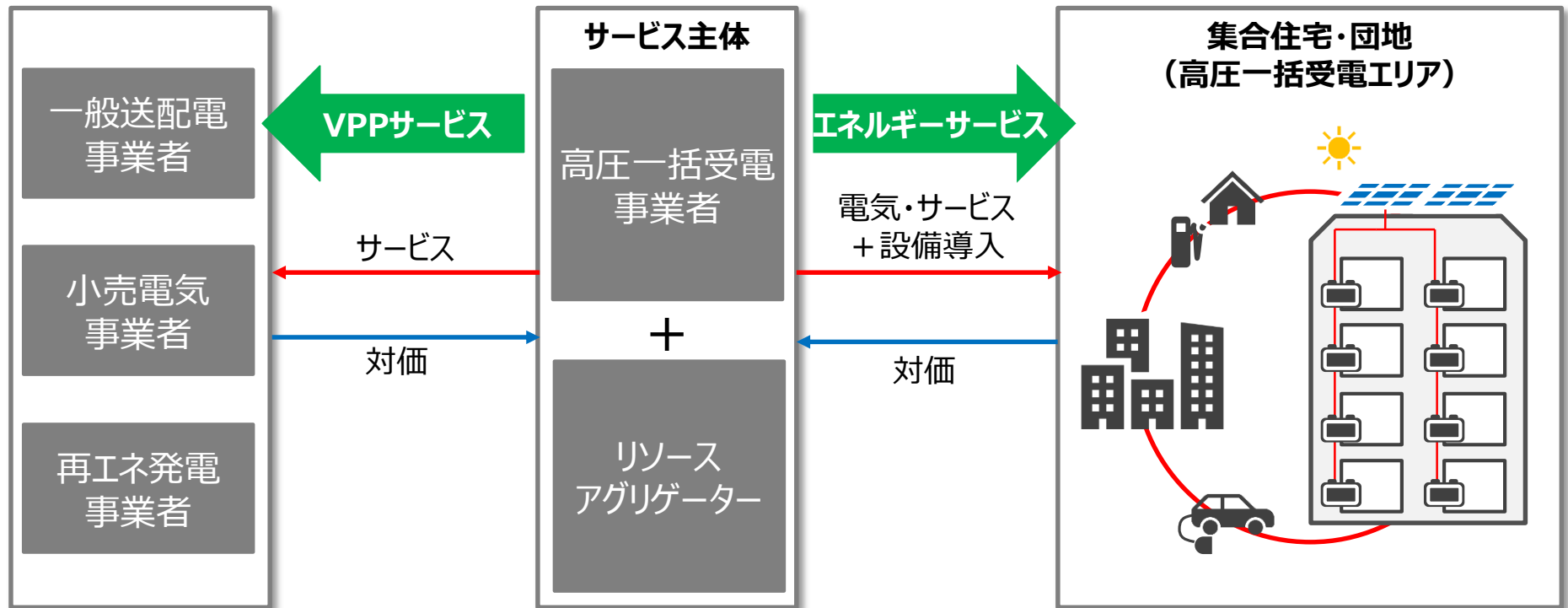
4.ローカルV P P の早期社会実装へ向けた考え方

【特定エリア・集合体（コミュニティ）を対象とした、自律分散型エネルギーサービス】



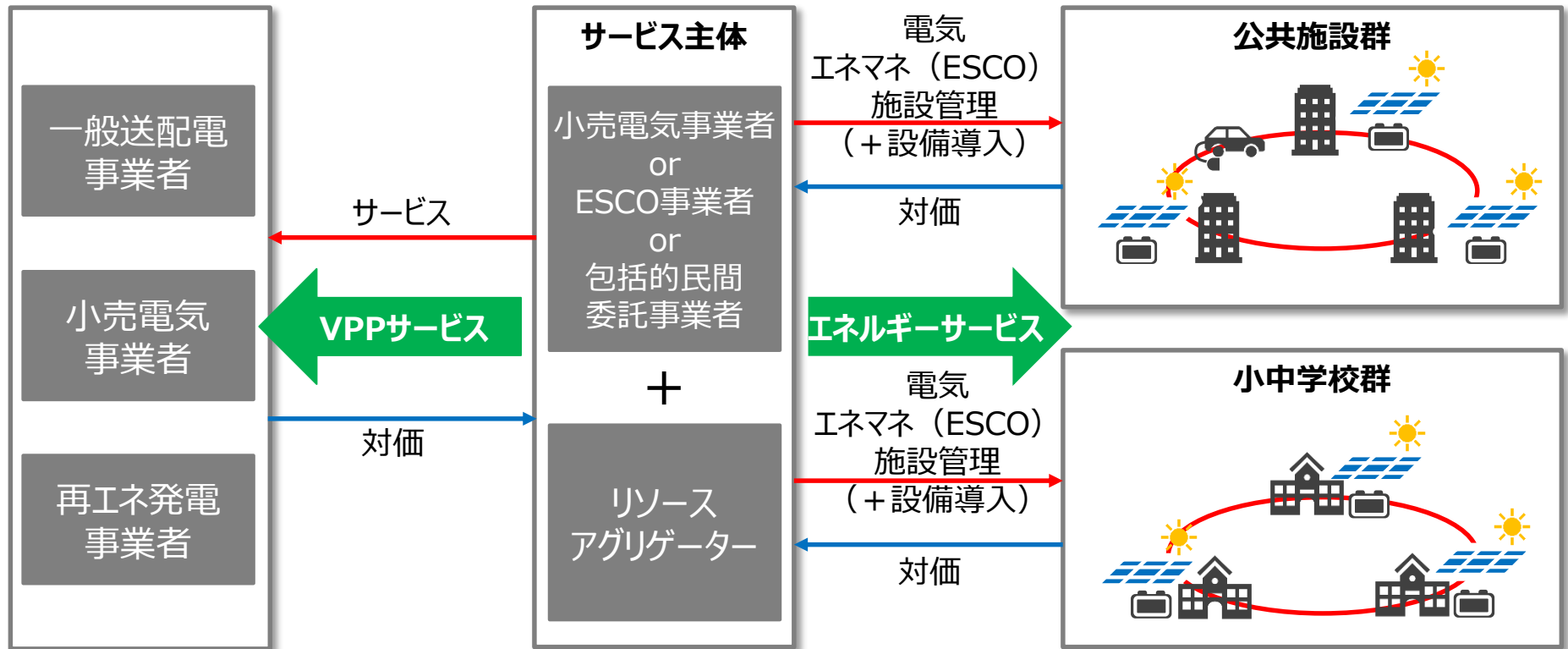
■ 集合住宅 ～エネルギーコスト削減、災害対策、資産価値向上～

- 集合住宅・団地に対して、高圧一括受電サービスとエネルギーマネジメントサービスを提供。
- 再生可能エネルギーや蓄電池を導入し、世帯間・棟間のエネルギー融通によって、エネルギーコストの削減、災害時のエネルギー源を確保。

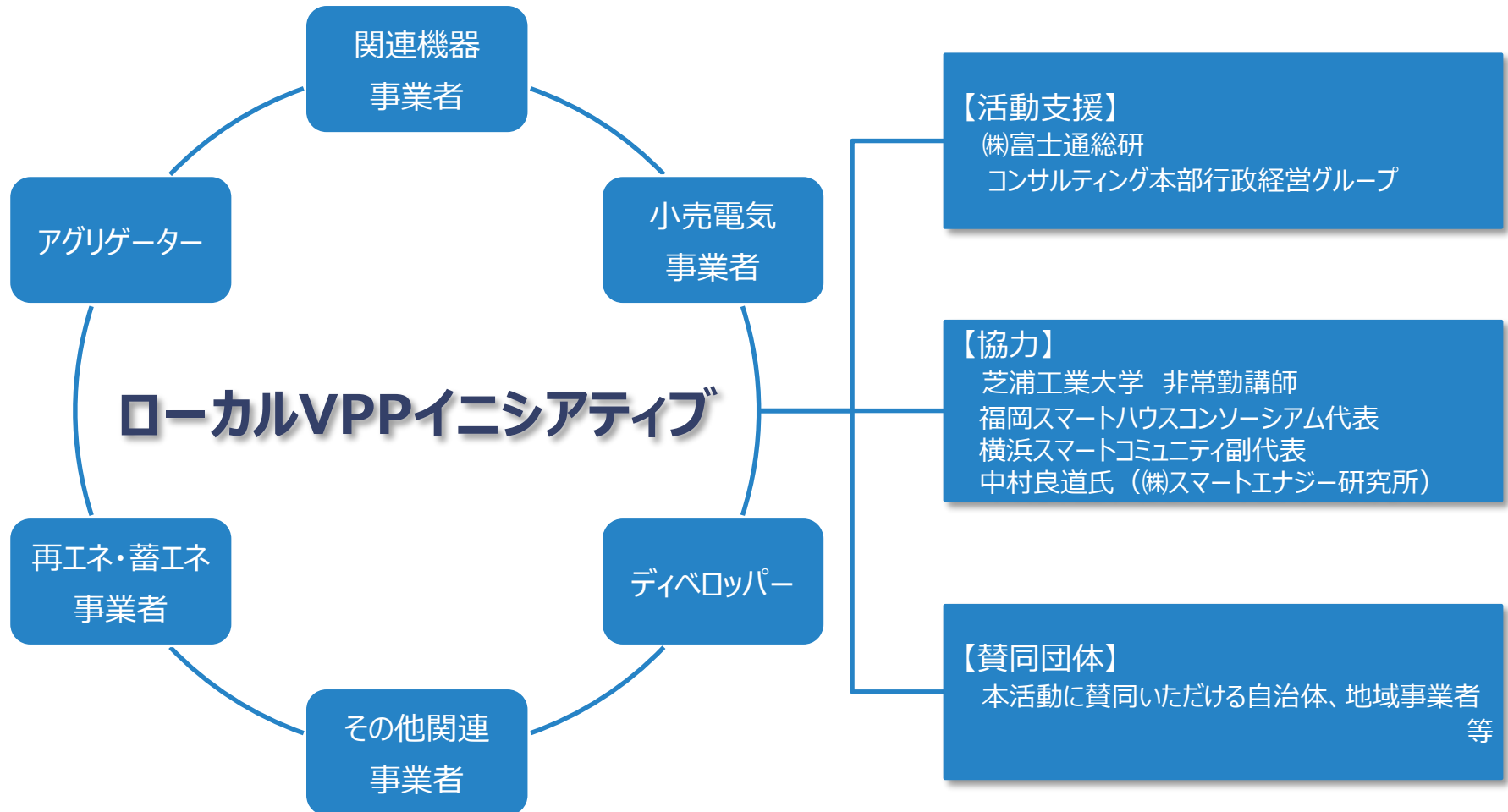


■ 公共施設・小中学校群 ～施設管理と併せて、地球温暖化対策と災害対策～

- 施設管理と併せて、再生可能エネルギー等設備を有効に活用したエネルギー管理による温室効果ガス排出量の削減とエネルギーコストを削減。災害時には自立したエネルギー源を確保し提供。



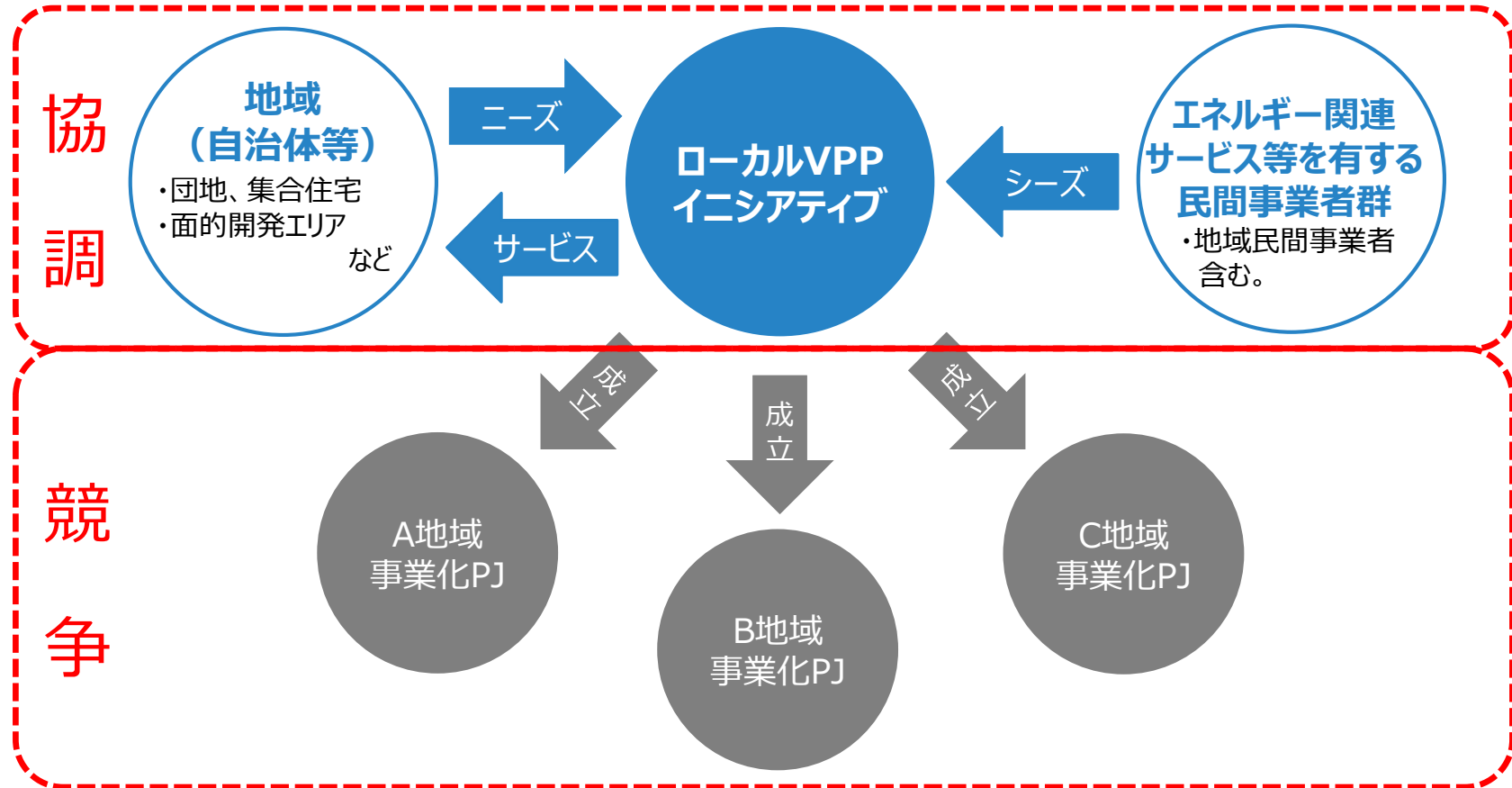
『ローカルVPPイニシアティブ』 の始動。



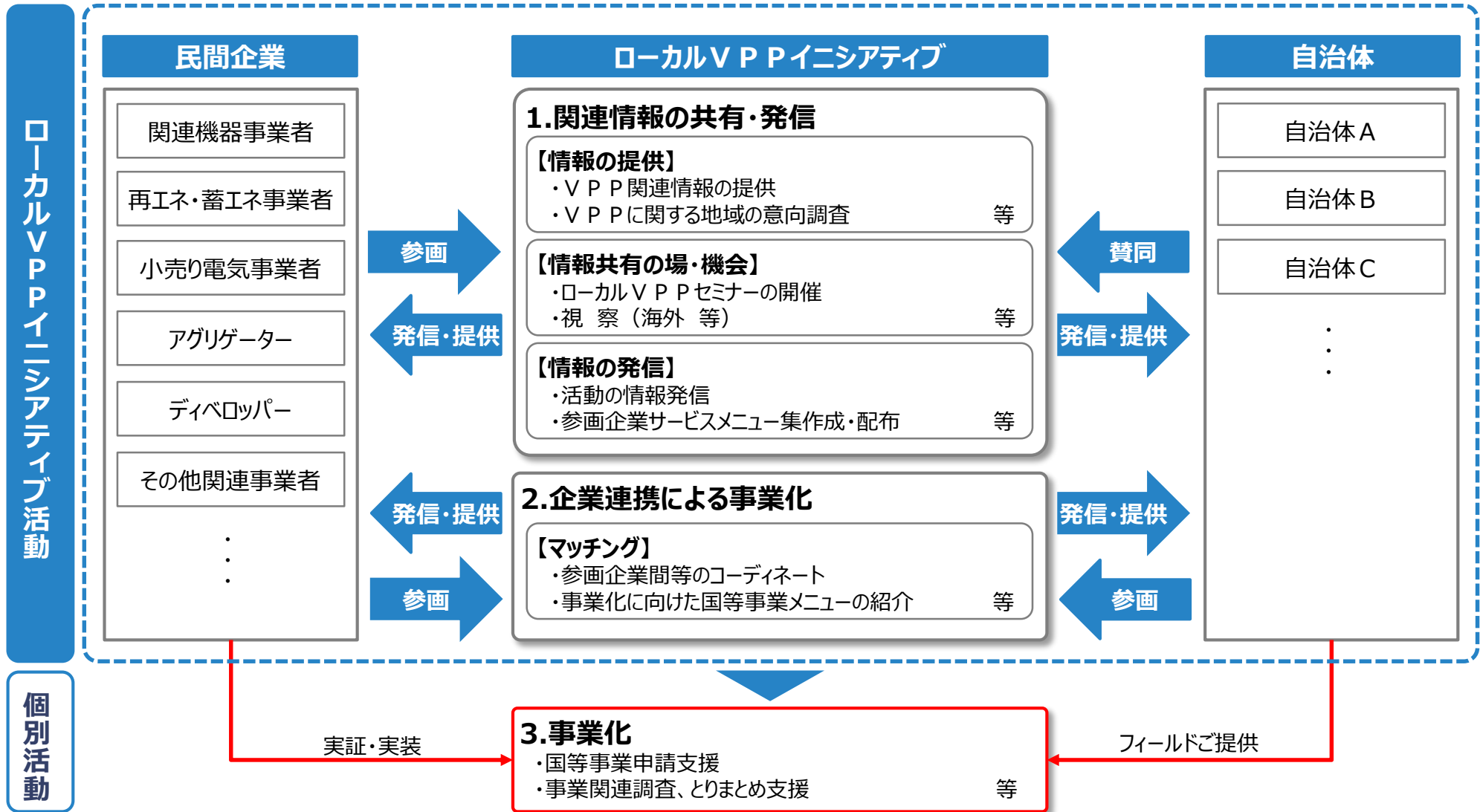
6.ローカルV P P イニシアティブ活動 ～「協調」と「競争」～

- 関連する多くの民間企業等の協調活動によるV P P 市場の創出・拡大と、生み出された事業は、早期社会実装（ビジネス）を目指した競争活動へ。

【ローカルV P P イニシアティブ活動】

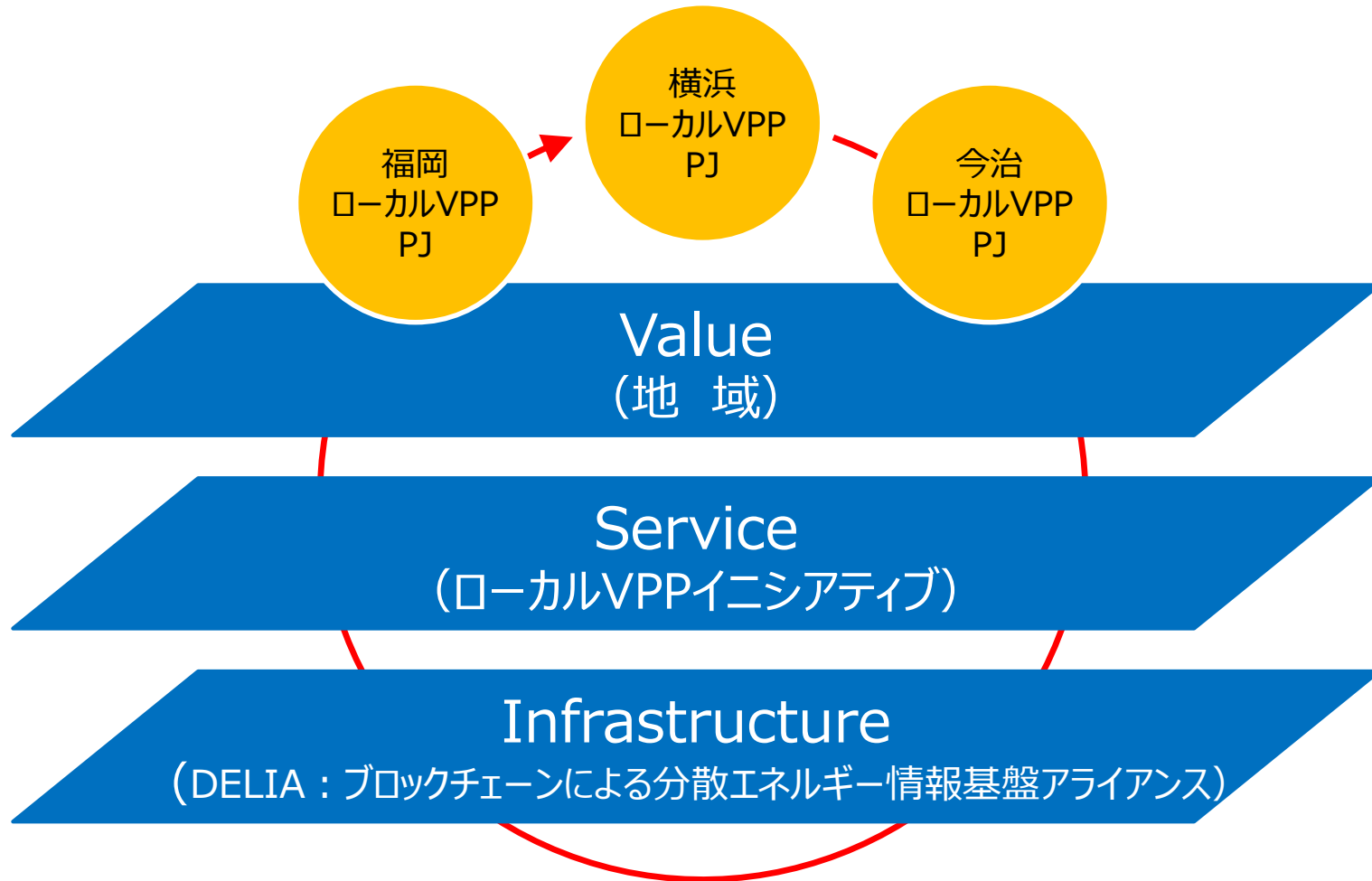


7.活動の全体像



9.ローカルVPPの価値創造と実装展開

- 先導的な地域と連携し、ローカルVPPのインフラ、サービスの構築を一体的に進めることによって新しい価値の創造と、早期の実装展開。



10.お問合せ等

- ご意見・ご質問等がありましたら、お問合せください。

【お問い合わせ先】

- 株式会社富士通総研 コンサルティング本部 行政経営グループ

担当：上保（うわぼ）

TEL：03-5401-8396 E-mail：y.uwabo@jp.fujitsu.com

- 所在地

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー12階

- その他、参考情報

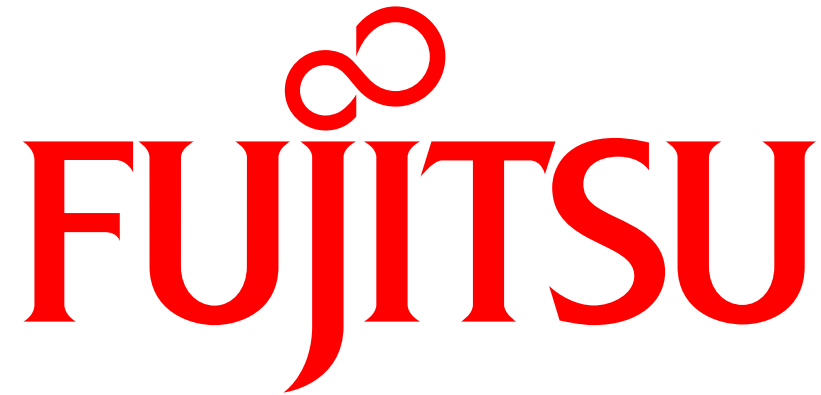
- ①「ローカルVPPイニシアティブ」の活動を開始

～第一弾として横浜市住宅供給公社とローカルVPP導入の検討を開始～

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fri/resources/news/press-releases/2018/0125info.html>

- ②「協調」と「競争」による新たな市場創出活動の実践 ～ローカルVPPイニシアティブ活動の取り組み～

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fri/column/opinion/2018/2018-8-4.html>



shaping tomorrow with you